

在セネガル日本国大使館月報

2023年10月

主な出来事

セネガル

(内政)

- 6日、サル大統領は、内閣を解散し新内閣の組閣をバ首相に一任する旨を声明にて公表した。11日、新内閣が組閣され、前内閣から1名増の39名の閣僚が任命された。新任閣僚は6名。(7日 Le Soleil)
- 19日、新任のファル外務大臣とタル前外務大臣との職務引継式が開催され、ファル大臣は就任挨拶を行った。(19日 ファル外務大臣 X)

(外政)

- 9日、国際会議場にて、ビル&メリンダ・ゲイツ財団の協力でグランドチャレンジ2023が開催され、サル大統領、ビル・ゲイツ氏、アザリ・アスマニ・コモロ大統領兼 AU 議長が出席した。(9日 大統領府 X)
- 25日、サル大統領は、ベルギーで開催中のグローバルゲートウェイ・フォーラムの開会式で、アフリカのインフラ整備のため継続的に資金を動員し続ける必要性を訴えた。また、セネガルとEUとの間で5つの事業の合意書が締結され、署名式にサル大統領とフォン・デア・ライエン欧州委員会委員長が同席した。(26日 大統領府 X)
- 27日、仏訪問中のサル大統領は、マクロン仏大統領と二国間関係、アフリカ情勢等に関する意見交換を行った。また、28日、ウワタラ・コートジボワール大統領とアフリカ地域情勢について協議した。(27日、28日 大統領 X)

(日本関係)

- 11日、シンクタンクのティンブクトゥ・インスティテュートは、在セネガル日本国大使館の協力の下、アフリカの安全保障に関するセミナーを開催し、伊澤修駐セネガル日本国大使とバカリ・サンベ所長が出席した。(12日 Le Soleil)

ガーボベルデ

- 24日、コレイア・エ・シルヴァ首相は、グローバルゲートウェイ・フォーラムに出席すべくブリュッセルを訪問し、フォン・デア・ライエン委員長と会談した。続いてEUはカーボベルデに対し、2億4,600万ユーロの投資を行うことを公表した。また、25日、ポレルEU外務・安全保障政策上級代表と会談した。(24、25日 balai CV)

ガンビア

- 在セネガル・ガンビア高等弁務官事務所は、10月26-27日、ダカール市において第1回ガンビア・セネガル経済・貿易・投資フォーラムを開始することを公表した。(13日 The Point)

ギニアビサウ

- 24日、ポルトガルを訪問中のエンバロ大統領はデ・ソウザ大統領と会談し、同大統領はギニアビサウの政治的安定性を賞賛した。また、25日、コスタ首相と会談し、ポルトガル語圏共同体における協力等について協議した。(24日 O Democrata、25日 noticeas ao minuto)

セネガル

(内政)

内政一般

- 内務省選挙総局は、2024年大統領選挙への立候補者が2日時点で190名に達したことを公表した。(3日 L'Observateur)
- 6日、サル大統領は、内閣を解散し新内閣の組閣をバ首相に一任する旨を声明にて公表した。11日、新内閣が組閣され、前内閣から1名増の39名の閣僚が任命された。新任閣僚は6名。(7日 Le Soleil)
- 6日、チャム通信大臣は、治安に脅威を与える破壊的メッセージを拡散する恐れがあるとのことで8月2日より遮断されている TikTok に関し、同社との合意が成立するまで遮断し続けることを決定した。(6日 APS)
- 12日、南部ジガンシオール州裁判所は、野党のソンコ旧 PASTEF 党首を選挙人名簿に再登録するよう命じる判決を下した。(13日 Le Soleil)
- 19日、新任のファル外務大臣とタル前外務大臣との職務引継式が開催され、ファル大臣は就任挨拶を行った。(19日 ファル外務大臣 X)

(外政)

二国間・多国間関係

- 4日、イギリス海軍の哨戒艦がダカール港に寄港し、セネガル政府と海洋安全保障上の協力を推進していくとの合意書を締結した。(5日 Le Quotidien)
- 9日、国際会議場にて、ビル&メリンダ・ゲイツ財団の協力でグランドチャレンジ2023が開催され、サル大統領、ビル・ゲイツ氏、アザリ・アスマニ・コモロ大統領兼 AU 議長が出席した。(9日 大統領府 X)
- 19日、サル大統領は、マリのゴイタ暫定大統領及びモーリタニアのガズワニ大統領とオンライン会議を開催し、セネガル川開発機構へのギニアの復帰について協議した。(20日 大統領府 X)
- 19日、バ首相は、アフリカ鉄道建設資金調達に関する国際会議を開催し、投資額の不足を指摘し、経済活動における鉄道の有用性を説いた。(20日 Walf Quotidien)
- 23日、サル大統領は、オルブライト米国ミレニアム挑戦公社の事務局長を迎え、雇用創出に向けた優先課題について協議した。(23日 大統領 X)
- 23日、ファル外務大臣は英国を訪問し、ミッチェルアフリカ開発大臣と経済、環境、国際情勢、安全保障等について協議した。また24日、クレバリー外務大臣と貿易、気候問題、防衛・安全保障問題について協議した。(23-24日 外務大臣 X)
- 23日、バ大統領府外交顧問は、第16回中国・アフリカ協力フォーラムの高級実務者会合にセネガル代表として出席した。(24日 Le Soleil)
- 25日、サル大統領は、ベルギーで開催中のグローバルゲートウェイ・フォーラムの開会式で、アフリカのインフラ整備のため継続的に資金を動員し続ける必要性を訴えた。また、セネガルとEUとの間で5つの事業の合意書が締結され、署名式にサル大統領とフォン・デア・ライエン欧州委員会委員長が同席した。(26日 大統領府 X)
- 27日、仏訪問中のサル大統領は、マクロン仏大統領と二国間関係、アフリカ情勢等に関する意見交換を行った。また、28日、ウワタラ・コートジボワール大統領とアフリカ地域情勢について協議した。(2

7日、28日 大統領 X)

国際情勢・国連機関支援等

- イスラエル・パレスチナ間の武力紛争の発生を受け、セネガル外務省は二国家共存を達成すべく可及的速やかに対話に戻る必要性を訴えた。(8日 APS)

日本関連

- 11日、シンクタンクのティンブクトゥ・インスティテュートは、在セネガル日本国大使館の協力の下、アフリカの安全保障に関するセミナーを開催し、伊澤修駐セネガル日本国大使とバカリ・サンベ所長が出席した。(12日 Le Soleil)
- 13日、アフリカ高等経営学センター(CESAG)において、セネガル人を対象とした人材育成研修事業の開始式が開催され、伊澤修駐セネガル大使及びインドゥール青少年大臣らが参加した。(14日 Le Soleil)
- 20日、高橋基樹京都大学教授はダカル大学で開催されたセミナー「JICA チェア」で、日本の経済発展モデルについて講演した。(23日 Le Soleil)
- 28日、ダカル市内のマリウス・ンジャイ競技場にて第30回柔道大使杯が開催され、伊澤修駐セネガル日本国大使が出席した。(28日 Le Soleil)
- 28日、在セネガル日本国大使館は、セネガル柔道連盟への令和5年度外務大臣表彰の伝達式を実施した。(31日 Le Soleil)

(経済)

経済一般

- 5日、グラディマ石油・エネルギー大臣は、米国ミレニアム挑戦公社と6億米ドルに上る電化計画を策定したことを公表した。(5日 APS)
- 高等教育省は、セネガル初の人工衛星が2024年始めに打ち上げられることを公表した。人工衛星はモンペリエ大学宇宙センターで作られ、今年11月末までにセネガルに納入される。(5日 Le Soleil)
- 24日、セネガルを訪問中のIMFの Gemayel 視察団長は、バ財務大臣と共同記者会見を開催し、1,660億FCFA(約332億円)の融資を行うことを発表した。(25日 Le Soleil)
- 24日、第1回宇宙に関する国際フォーラムに出席したバ首相は、政府として宇宙分野に対して支援を行っていくことを表明した。(25日 Le Soleil)
- 28日、バ首相(次期大統領選挙の与党推薦候補)は、5日間の日程で経済視察を開始した。ティエス市において2件の病院を建設することを公表した。(30日 Le Soleil)

(社会)

- 保健省は、乳がん啓発キャンペーンの実施にあたり、毎年国内で8,000~12,000件の乳がんが検出されていることを公表した。(4日 Le Soleil)
- 仏語圏プレス国際協会(UPF)は、2024年1月8-12日にダカルで会合を開催することを公表した。テーマは「メディア、平和、安全」で、約160名が参加する予定である。(16日 Le Soleil)
- 31日、国家統計・人口局は、5-6月に実施された国勢調査の結果速報を公表した。2023年のセネガルの総人口は、約1,803万人(2013年は約1,351万人)で、年率換算すると2.9%の上昇となる。国民の約半数が19歳以下との結果が出た。(11月2日 Le Soleil)

(文化・スポーツ)

- 17日、ソウ文化大臣はイランのイマニプル協力大臣を迎え、文化協力を促進していくことで一致した。(17日 APS)

カーボベルデ

- 1日、政府は2024年度の予算案を議会に提出した。予算額は812億エスクード(7.38億ユーロ)で、2023年度比で4.11%増となる。(2日 Asemana)
- 3日、ドイツのシュタインマイヤー大統領は、プライアにおいてネーヴェシュ大統領と会談し、アフリカで相次ぐクーデタのカウンターバランスになると同国の民主主義を賞賛した。(4日 balai CV)
- マカオの実業家デビッド・チョー率いるマカオ・レジェンド・デベロップメント社がプライア市で進めていたホテル・カジノ建設事業が2025年までに中止されることが公表された。(5日 Expresso das Ilhas)
- ネーヴェシュ大統領は、ハマスによるイスラエル攻撃を受け、暴力の連鎖を引き起こすと同攻撃を非難した。(8日 Asemana)
- 13日、トルコ・アフリカフォーラムの-marginで、サトベント商工会議所会長はオルパク・トルコ対外経済関係評議会会長との間で、情報と貿易に関する投資合意書に署名した。(13日 anacao)
- 18日、ネーヴェシュ大統領は、ダ・コスタ・アンゴラ副大統領を迎え、高等教育・科学技術分野で協力を進めていくことを公表した。(19日 balai CV)
- 19日、カーボベルデ・テレコムはサイバー攻撃の被害に遭い、IP電話、テレビ通信、モバイル音声等に障害が発生した。2020年11月にもランサムウェアの攻撃により、通信サービスが遮断された事例がある。(23日 Expresso das Ilhas)
- 24日、コレイア・エ・シルヴァ首相は、グローバルゲートウェイ・フォーラムに出席すべくブリュッセルを訪問し、フォン・デア・ライエン委員長と会談した。続いてEUはカーボベルデに対し、2億4,600万ユーロの投資を行うことを公表した。また、25日、ボレルEU外務・安全保障政策上級代表と会談した。(24、25日 balai CV)
- 26日、コレイア・エ・シルヴァ首相は、スルテンベルグNATO事務総長と会談し、防衛と安全保障に関する協力について協議した。(26日 balai CV)
- 30日、フォゴ島とブラバ島の間で小規模な地震が発生し、家屋2件が倒壊した。(30日 opais CV)

ガンビア

- 5日、バロウ大統領とアデシナ・アフリカ開発銀行グループ総裁は、ガンビアの米の生産拡大と若年・女性起業家への投資を促進することで一致した。(5日 The Point)
- 6日、ガンビア入管庁とIOMは、西海岸と下流地域の国境地点において、出入国データ分析システムを導入した。(9日 The Point)
- 6日、WFPは、ガンビア全土で実施する学校給食プログラムを推進するため、3台の車両を初等中等教育省に供与した。(10日 The Point)
- 7日、ガンビア政府は、水産業からの収入向上を目的に、セネガル政府と漁業資源の管理と監視を共同で行う合意書に署名した。(12日 APS)
- 11日、ガンビア政府とWHOは、アフリカでのポリオの早期検出の能力強化のための研修を4日間の予

定で開始した。(11日 The Point)

- 在セネガル・ガンビア高等弁務官事務所は、10月26-27日、ダカール市において第1回ガンビア・セネガル経済・貿易・投資フォーラムを開始することを公表した。(13日 The Point)
- 26日、ダカールにおいて第1回セネガル・ガンビア経済・貿易・投資フォーラムが開催され、ジャロウ副大統領及びバ・セネガル首相が開会式に出席した。(27日 Sud Quotidien)

ギニアビサウ

- 2日、政府とIMF調査団は、経済・財政政策の支援に向けた810億米ドルの貸し付けに合意した。(2日 O Democrata)
- 10日、エンバロ大統領は、10月23-25日ポルトガルを訪問し、デ・ソウザ大統領及び政府・議会関係者らと面談することを公表した。(10日 noticia sao minuto)
- 10日、ガザ地区における武力衝突を受け、エンバロ大統領は暴力のエスカレートと人命損失の危機にあるとし、早期の停戦を呼びかけた。(10日 noticia sao minuto)
- 18日、駐ギニアビサウ中国大使は、中国大使館主催のセミナーにおいて、治安分野での協力を進めていく考えを示し、来年より同国産カシューナッツを中国に輸出することに期待を示した。(19日 O Democrata)
- 20日、マルティンス首相は、2024年度の予算案について言及し、国家機構・制度の強化、貧困対策、インフラの建設の促進等の政策方針を示した。(22日 Radio bantaba)
- 23日、エンバロ大統領は、11月16日に開催される軍隊の日の祝祭にポルトガルのデ・ソウザ・大統領及びコスタ首相が出席することを発表した。(23日 O Democrata)
- 24日、ポルトガルを訪問中のエンバロ大統領はデ・ソウザ大統領と会談し、同大統領はギニアビサウの政治的安定性を賞賛した。また、25日、コスタ首相と会談し、ポルトガル語圏共同体における協力等について協議した。(24日 O Democrata、25日 noticeas ao minuto)
- 25日、米国政府はギニアビサウ、マカオ、赤道ギニアが人身取引の規範に反しているとして、同3か国をブラックリストに載せた。それを受け26日、エンバロ大統領は、そのような事実はないとし外務省を通じて米国に反論したとの発言を行った。(26日 radio voz dopovogb)
- 31日、駐ギニアビサウ中国大使は、コンテ社会的コミュニケーション閣外大臣との会合において、ジャーナリスト及びメディア技術者に対し、中国の大学での学士・修士課程の奨学金を出すことを公表した。(11月1日 O Democrata)

(注) 本報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

(了)